

## ティーボールのルール

### 1. 競技場区画線

資料「ティーボール区画線」とする。但しホームランラインは利用施設により変更してもよい。

### 2. 試合規定

(1) チームの選手は、10名～15名とする。但し対戦チームの選手が同数でなくてもよい。

(2) 1試合は5イニングとし、コールドゲーム及び延長戦は行わない。

(3) 1イニングは、打者が10名打ち終わったら終了とし攻守交代をする。

アウトカウントの適用はなく3アウトでも攻守交代しない。

(例) 1チーム12名の場合 1回の攻撃(1～10) 2回の攻撃(11・12・1～8) 3回の攻撃(9・10・11・12・1～6)

(4) 選手交代及び守備位置変更は、何回でも可能とする。

(5) 指導者は、選手を守備及び打席に1回以上参加させる。

(6) 選手の服装は、「帽子」「野球用ウェアまたは運動着(長ズボン)」とする。

### 3. 守備規定

(1) 守備者は10名で行う。投手、本塁手、1塁手、2塁手、3塁手、遊撃手、外野手4人に分かれる。

(2) 投手は、打者が打つまで「ピッチャーサークル」を出てはいけない。

(3) 本塁手は、打者が打つまで「バッターズサークル」の中には入れない。

(4) 野手はグラブ使用が基本であるが、素手での守備でもよい。

### 4. 打撃規定

(1) 打者は、審判の宣告「プレイ」により投手が投球モーションをした後に「バッティングティー」にセットしたボールを打つ。

(2) 打者がボールを打たないで、明らかにバッティングティーを打ったと判断出来るときは、空振りでワンストライクが加えられる。

ツーストライク後からこれを行ったときは、打者は三振である。

(3) 打者のバントやプッシュバントは禁止とする。

(4) 指導者及び保護者は、安全面を考慮し打者が打撃直後にバットを手放さないように指導する。



### 5. 走塁規定

(1) 走者は、打者が打つまでベースを離れる行為(リード)は禁止、また盗塁も禁止とする。

(2) 走者は、スライディング禁止とする。

(3) 走者の1塁、2塁、3塁での駆け抜けは認められる。(走者は塁ベースを駆け抜けた後、進塁の意志がない場合には野手にタッチされてもアウトにならない)



### 6. ルール確認

(1) 本塁より半径5m円内でのゴロ処理はファールとする。(ライン上はフェア)

(2) 本塁より半径5m円内でフライを取った場合はアウトとする。

(3) インフィールドフライは適用しない。

(4) ゴロの打球が、ホームランラインを越えた場合はボールデッドとする。(打者は2塁打、走者は最初の占有塁よりテイク2ベース)

(5) 守備機会にボールがボールデッドラインを越えたときはテイク1ベースとする。(最初の占有塁より)

(6) その他のルールは、通常ルールを適用する。

### 7. 審判員

(1) 審判員(球審・塁審)は、保護者が交代にて担当する。

(2) 球審は、走者の帰塁及び野手の守備に「バッティングティー」が妨げとなるときは速やかに移動する。